

ヤマノイモ\*1(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	薬液病	つる枯病	炭疽病	褐色腐敗病	青かび病	根腐病
ICボルドー66DFL	無機	M1		*a	-					◎ ム	
Zボルドー水	無機	M1		-	-	◎		◎			
コサイド3000DF	無機	M1		-	-	◎					
オンリーワンFL	DMI	3		7	3	◎ ム		◎ ム			
アミスター20FL	QoI	11		1	3	◎		◎			
ストロビーFL	QoI	11		7	3	◎ ム					
メジャーFL	QoI	11		1	3	◎		◎			
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		7 45	5	◎ ム		◎ ム			
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		1	3	◎		◎			
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		21	4	◎		◎			
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		21	4	◎		◎			
キノンドー水40	有機銅	M1		14	5	◎					
ヨネボン乳	有機銅	M1		*a	1					◎	
ダコニール1000FL	他	M5		30 45	6	◎ ム	◎ ム	◎ ム			
ハチハチ乳	他	39	劇	1	2	◎					
フロンサイドSC	他	29		*a 7	1 4				◎		
フロンサイド水	他	29		7	4	◎ ム					
ベルコートFL	他	M7		7 *a	5 1	◎		◎		◎ ム	
ユニフォーム粒	QoI・アミド	11・4		*a	1						◎
ラビライト水	ベンゾイミダゾール・有機硫黄	1・M3		14	4	◎		◎			
ベンレートT水20	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*a	1				◎ ム	◎ ム	◎
ティービック水	有機硫黄・他	M3・20		*a	1						◎
シトラーノFL	有機銅・他	M1・M5		30	5	◎		◎			

\*1:ヤマノイモ…やまといも、自然薯、丸いも、ながいも、とつくりいも、いせいも、いちょういも、つくねいも、だいじよを含む

\*a:植付前 ム:ムカゴに対する登録

※ヤマノイモとムカゴの両方を収穫する場合には、①野菜類あるいは②「イモ類又はヤマノイモ」と「ヤマノイモ(ムカゴ)」の両方に登録がある農薬を使用する。

また、ムカゴの登録における「使用時期(日数)」は、ムカゴの収穫前日数なので注意する。

ヤマノイモ\*<sup>1</sup>(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

ヤマノイモ

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	タ ネ バ エ	ナ ガ イ モ コ ガ	ヤ マ ノ イ モ コ ガ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	カ ン ザ ワ ハ ダ ニ	ネ コ ブ セ ン チ ュ ウ
デルフィン顆水	B T	11A		*c	-						◎	◎					
コロマイト乳	マコロイト*	6		7	2										◎	◎	
アタブロン乳	I G R	15		7	3				◎	ム							
マトリックFL	I G R	18		1	3						◎						
ビーラム粒	アミド			*a	1												◎
バイデートL粒	カーバメート	1A	劇	*a	1												◎
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		*a	1												◎
カネマイトFL	殺ダニ	20B		3	1										◎	◎	
ダニサラバFL	殺ダニ	25A		1	2										◎	◎	
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		3	1										◎	◎	
フェニックス顆水	ジアミト*	28		1	2				◎			◎					
プレバゾンFL5	ジアミト*	28		14	2				ム			◎					
ベネビアOD	ジアミト*	28		1	3				◎			◎					
アドマイヤー顆水	ネコチノイト*	4A	劇	14	2	◎											
アドマイヤー1粒	ネコチノイト*	4A		*d	1	◎								◎			
ダントツ溶	ネコチノイト*	4A		7	3	◎											
ダントツ粒	ネコチノイト*	4A		*d	1									◎			
モスビラン顆溶	ネコチノイト*	4A	劇	7	3	◎	◎		◎								
アディオソ乳	ビレスロイト*	3A		21	1	◎	◎		◎								
ガードベイトA粒	ビレスロイト*	3A		7	5	◎	◎		◎					◎			
トレボン乳	ビレスロイト*	3A		14	3	◎			◎			◎					
トレボン粉DL	ビレスロイト*	3A		14	3	◎			◎			◎					
フォース粒	ビレスロイト*	3A	劇	*d	1			◎					◎				
マブリック水20	ビレスロイト*	3A	劇	7	2	◎			◎			◎					
オルトラン水	有機リン	1B		45	1	◎			◎								
ジェイエース溶	有機リン	1B		45	1	ジ											
ダイアジノンSLゾル	有機リン	1B		*a	1										幼		
ウララDF	他	29		7	2	◎			◎								
コテツFL	他	13	劇	1	2	◎			◎								◎
コルト顆水	他	9B		3	3	◎			◎								◎
トランスフォームFL	他	4C		1	3	◎			◎								◎
ハチハチ乳	他	21A	劇	1	2	◎			◎								
ビレスコ顆水	他	4C		3	3	◎			◎								

\*1:ヤマノイモ…やまといも、自然薯、丸いも、ながいも、とつくりいも、いせいも、いちよういも、つくねいも、だいじょ を含む

\*a: 植付前 \*b: 生育初期 \*c: 発生初期(但し収穫前日まで) \*d: 植付時

ジ: ジャガイモヒゲナガアブラムシ ム: ムカゴに対する登録 幼: 幼虫

※ヤマノイモとムカゴの両方を収穫する場合には、①野菜類あるいは②「イモ類又はヤマノイモ」と「ヤマノイモ(ムカゴ)」の両方に登録がある農薬を使用する。

また、ムカゴの登録における「使用時期(日数)」は、ムカゴの収穫前日数なので注意する。

## ヤマノイモ(野菜類、イモ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
葉渋病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>ジマンダイセン水和剤 400～600倍</li> <li>ストロビーフロアブル☆</li> <li>ヤマノイモ：2000～3000倍</li> <li>ムカゴ：2000倍</li> <li>ダコニール1000(FL)☆ 1000倍</li> <li>トップジンM水和剤☆ 800倍</li> <li>Zボルドー(水) 500倍</li> </ul>	6月下旬頃から発生する。
炭疽病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>ジマンダイセン水和剤 400～600倍</li> <li>ダコニール1000(FL)☆ 1000倍</li> <li>トップジンM水和剤☆ 800倍</li> <li>Zボルドー(水) 500倍</li> </ul>	7月中旬より発生する。
褐色腐敗病・青かび病	植付前	<ol style="list-style-type: none"> <li>連作をさける。</li> <li>健全な種いもを使用する。</li> <li>種いもを次の薬剤で処理する。 ベンレートT水和剤20☆ 100～200倍 10分間浸漬</li> <li>褐色腐敗病に対しては土壤消毒を行う#(土壤消毒の項参照)。</li> </ol>	#青かび病を対象とした土壤消毒剤は登録されていない。
アブラムシ類	発生期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>アディオオン乳剤 2000～3000倍</li> <li>モスピラン顆粒水溶剤☆ 4000倍</li> </ul>	
ハダニ類(カンザワハダニ)	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。</li> <li>コテツフロアブル☆# 2000倍</li> <li>コロマイト乳剤☆ 1000倍</li> <li>マイトコーネフロアブル 1000倍</li> </ul>	#カンザワハダニでの登録
ネコブセンチュウ	植付前	<ol style="list-style-type: none"> <li>種いもは健全なものを選ぶ。</li> <li>作付予定地で、前作物に寄生のあったところでは土壤消毒を行う(土壤消毒の項参照)。</li> <li>次の薬剤を全面土壤混和する。 ネマトリンエース粒剤☆ 20kg/10 a</li> </ol>	

☆:ヤマノイモ(ムカゴ)にも登録のある農薬。ヤマノイモを収穫する場合とは使用時期等が異なる場合があるので注意する。